

10月7日(水曜日)「肉的熱心では」

【新改訳 2017】

ルカ 9.51-56

「弟子のヤコブとヨハネが、これを見て言った。『主よ。私たちが天から火を呼び下して、彼らを焼き滅ぼしましょうか。』しかし、イエスは振り向いて、彼らを戒められた。」(54、55節)

主イエスが、ひたすらエルサレムを目指して歩み行かれた時、途中、サマリヤ人たちはイエスを受け入れなかったため、ヤコブとヨハネが冒頭のように語ったのです。怒りのゆえでしょうか。随分厳しいことばとなっています。

実は、ヤコブとヨハネは、主からボアネルゲ(雷の子)というあだ名をつけられていました。一見、熱心な信仰のように思われますが、主は彼らを戒められたのです。

主イエスの弟子たる者は、肉的な(霊的でない、生来の性質や能力に依存する)熱心だけではふさわしくないのです。主のみこころ、みことば、聖霊の導きに従っている熱心が大切なのです。熱心にも種類があります。

弟子たちは聖霊降臨後に変えられました。私たちもそうで

ありますように。

～祈り～

主よ。肉的热心ではなく、本当に霊的な、みこころにかなった
熱心で事に当たることができるようにならせてください。御霊
によって変えられた者にしてください。

【学びのために】

ゼカリヤ 4・6「『権力によらず、能力によらず、わたしの霊によっ
て』と万軍の主は仰せられる」。ヨハネ 3・5-7 も参照。